

NP020 周年記念事業

地域懇談会（上越地区）懇談会 実施報告書

- ◇ 開催日時：令和4年10月19日（水） 10：00～13：00
- ◇ 開催場所：上越市教職員互助会「高陽荘」（上越市西城町3-6-22）
- ◇ 出席者：（主催者）NP0 副理事長 鈴木 興次（進行）
（参加者）大塚 和雄、歌川 実、常山 哲、西田 行宏、近藤 利章
林 孝作、佐藤 裕、吉田 芳郎
（事務局）新部 正道、林 和敏、笹川 岳之

※以上12名、順不同・敬称略
- ◇ 配付資料：「NP0 法人にいがた地域創造センターの活動実績（20年の歩み）」
(A4 両面9ページ)

《懇談会の内容》

今後のNP0活動の方向性を考えるための意見交換として開催。

- ・会議趣旨説明、資料・日程確認（事務局）
- ・主催者挨拶（鈴木副理事長）
- ・議題1「NP0活動の今までを振り返る（良かった点・反省すべき点）」
- ・議題2「今後の活動に向けた意見・要望・提案」
- ・自由意見交換

☆主催者挨拶 要旨：鈴木興次 副理事長

- ・当NP0法人は、阪神淡路大震災時のNP0活動を基に、新潟県土木部のOBとして、地域のために奉仕していきたいという趣旨で始まった。
- ・以来、「河川情報モニター」・「都市公園モニター」や「社会資本見学会」等、県土木部から委託を受けた事業を実施することにより社会貢献を続けている。
- ・しかし、高齢化による退会や新規入会者の減少により、正会員数が減り始めているのが現状。
- ・来年10月に当NP0設立20周年を迎えるにあたり、今後の活動方針を一回見直そうということになり、ここ上越地区を皮切りに中越・下越と3地区で地域懇談会を開催する。
- ・今年は3年振りに12月21日に新潟東映ホテルを会場に「総会」を開催する予定にしている。更に、20周年記念事業も来年の10月20日に挙行することとしている。
- ・これらの背景を念頭に、皆様から自由闊達、忌憚の無い貴重なご意見を頂き、今後のNP0活動の参考にさせて頂きたい。

☆NPO活動の今までを振り返る（良かった点）要旨

〈河川・公園モニター〉

- ・多くの会員の方々から河川モニターとして参加頂き、事務方として非常にやりやすかった。
- ・県行政の負担の一部が助かるという意味でも、継続していくのが良い。
- ・土木屋として地域に貢献できることは、自分の張り合いであり、誇りとなっている。しかしだんだん年を取れば体力的にも限界があり、負担にならないように活動を続けていきたい。
- ・現役の土木部職員との接点ができたこと。
- ・一緒に活動する方との情報交換の場ができたこと。
- ・費用弁償の支給があること。これはNPO法人だから行政が安心して頼めるということ。
- ・建設会社として施設を施工する側からすると「管理者としての目線」は無い。これに対して「管理」を経験している人間の集まりであるこのNPO組織にはその「強み」、「存在意義」があるため、今後も存続していくべきと感じる。

〈地域懇談会〉

- ・多数の方々から参加頂いた。
- ・「官・民・OB」三者の情報交換する場がこれまで無く、民間企業の方々からも喜ばれ、賛助会員として新規入会の申込みがあるなど、有意義であった。
- ・定期的な開催を希望したい。
- ・「官・民・OB」が一緒に飲食(情報交換)できる会は良い。
- ・今は建設業会と現役職員との接点も希少になってしまい、情報交換も難しくなっている中、「官・民・OB」が一緒に総会に出席して、OBが介在して民側の情報を官側に挙げられるのは良いことだと感じる。
- ・建設関係の仕事は「右肩下がり」であり、系列の小さい子会社を持つ親会社としては、年々赤字が続いている子会社を何とかしたいと考えているようだ。そういった会社の内情や、この先どういうことが想定されるのかなど聞きづらいところも、OBが介在することによって聞ける部分もある。NPOのこういった会を通じて、様々な情報交換を図ることが出来ることも良いと感じている。

〈社会資本見学会〉

- ・職員不足の県土木に代わり、OBによるNPOでなければできない「担い手育成」のための重要な事業だと思う。

〈その他〉

- ・土木業務の目玉である災害対応について、現若手職員への指導する機会があったこと。
- ・万内川の砂防フェスの運営にもNPOから出費いただき、毎年盛況で良かった。(ありがたい。) フェス開催前に現地の草刈りを行い、その後に現役の治水関係職員と、年間唯一の懇談の機会を設けており、楽しみとなっている。こういう交流の場は大事にして続けていきたい。

☆NPO 活動の今までを振り返る (反省すべき点) 要旨

〈全体〉

- ・現役の頃には、この組織の役割等について理解していない部分があり反省している。今後は現役にもしっかり理解してもらえるよう、当 NPO の PR にも努めていきたい。
- ・今後上越地区でも「定年延長」に伴う新規入会者の減少が懸念される。今後どう対応していくかが今後の課題。

〈河川・公園モニター〉

- ・河川モニターでは重点水防箇所だけでなく、時には地元住民からも情報収集し巡視を行う必要あり。
- ・モニターとしての状況把握～報告の重要性を認識。
- ・維持・管理予算の不足なのか、なかなか改善されずに放置された箇所があった。
- ・被災状況の原因や経緯等について、現役の若手職員にも災害研修等で話す機会があればなあと感じている。
- ・会社の車両を使っていること。事故等に際し会社への迷惑等が気がかり。
 - ⇒ 社有車の事故保険対応については、心配するときりが無い。難しい。
 - ⇒ 私有車の燃料代については、走行距離の申告によって支払われるようになる方向か。
 - ⇒ 車の保険は NPO に所属していれば出るが、退会すると保険は効かないのでパートに参加できないという話も聞いている。
- ・モニターはボランティアが基本だと思うが、車の問題や保険の関係はきちんとすべきであり、現在、企画部でいろいろ検討している。少しずつでも改善していければよいと思う。
- ・公園モニターは利用者としての目線が基本だが、施設管理者としての目線になりがち。
- ・将来、高齢化等による会員の減少による影響が懸念される。NPO でやり続けるのか、行政側が一部を直接業者に外注するのか、判断が必要。

〈地域懇談会〉

- ・賛助会員の皆さんには、入会の恩恵がなかなか無い。「官・民・OB」の情報交換の場として継続していくことが大変重要。

☆今後の活動に向けた意見・要望・提案等、自由意見交換 要旨

〈全体〉

- ・国交省の場合、OB の活動として「北陸地域づくり協会」があり、「防災エキスパート登録」して災害時等の応援体制を構築している。同様に当 NPO 法人も県職員 OB として県土木行政を支援できる団体として、今後、どう活動を続けて行くかが課題。
- ・今後、NPO 法人として、①まちづくりや地域活性化
⑦社会資本整備に関わる情報収集・検討・提案事業に係る活動を重点的に行っていくのが良いと思う。

〈河川・公園モニター〉

- ・高齢化や入会者減により予想される「モニター要員の減少」は全県的な課題。
⇒ 体制の縮小や、受託規模(河川数、範囲)の縮小も止むを得ない。
- ・治水・公園担当課職員との意見交換会を開催できないか。現役若手職員に対しNPOの活動について知っていただく良い機会になると思う。

〈地域懇談会〉

- ・今後の開催見込み等について総会紙や会報で情報提供いただきたい。賛助会員から会費は取られているのに、「恩恵無し」との指摘あり。

〈社会資本見学会〉

- ・今まで新潟市や新発田市の高校に限られてきたが、上越地区には上越総合高校もあり、県への入庁を希望する人材を増やすためにも、是非上越地域での開催をお願いしたい。(若手の人材を希望する地元建設企業への就職を促すためにも。)

〈NPO 総会〉

- ・総会については「新潟市内開催」でやむを得ないと思うが、上越地区からだと参加希望はあるが、交通費・宿泊費が嵩むこともあり参加を見合わせる方々が多い。是非、配慮を。

〈意見交換会 等〉

- ・経験を生かして、常日頃から気が付いた点について意見交換する機会を。
- ・「NPO 活動」の現役世代へのPRが必要。
⇒ 現役職員との土木施設の見学会～意見交換～交流会の開催を。
- ・地域(各支部)ごとに現役(課長代理以上?)と、NPOや地域のOBが一堂に会した意見交換会ができると良いと思う。
- ・NPO 総会だけでなく、会員同志で上・中・下地区での見学会～交流会を期待。
- ・このようなコロナの状況が今後も続くようなら、地域ごとの小さい単位で懇親会を開催するとか、NPOの活動も変えていかなければならない。
- ・「水害・土砂災害から身を守る」ための説明会など、安心・安全のための啓蒙活動を進めるべき。
⇒ ハザードマップ・避難場所の説明会。避難訓練への参加。(地元市町村との連携・協働)

〈市町村支援〉

- ・市町村への権限委譲が進められる中、市町村の技術力の低下が懸念されている。河川計画や都市計画等の経験豊富な人材を擁する当NPOが、技術的な支援ができる組織としてその役割が担える。
- ・市が様々な計画を立案する際には、外部業者に業務委託していると思うので、その成果品をまとめる過程(例えば照査段階)で、当NPOからアドバイザー(施設管理経験者、都市計画経験者など)として人材派遣可能な団体であると認識されれば良いと思う。(支払われる費用は日当程度で。)
- ・市町村からオファーをもらうためには、まず市町村の関連部署に説明(PR)に行く必要あり。上越市なら、市がそこまで期待するかどうか県から出向している部長に尋ねてみるのが良いかも。

〈人材・求人情報〉

- ・定年延長にも関連して、フルタイムでなくて、少しでも収入が得られるなら、まだ働きたいと希望する人達のために、ホームページと共に、人材・求人情報の提供ができるサービスが作れないか。
- ・「人材・求人情報」掲示板の設置に同感。70 前後の方々に、後釜を見つけないと辞められない、というのが実情となっているところがある。

《状況写真》



【主催者の挨拶】



【意見交換状況 1】

【事務局から会議趣旨等説明】



【意見交換状況 2】



【懇談会メンバー及び事務局】